

前山1号墳(本庄市)

正面の坂を下った所に上越新幹線の本庄早稲田駅がある



新幹線の線路を渡ると早稲田大学の敷地となり、その中に前山1号墳が所在する



ここは大久保山丘陵の尾根にあたり、早稲田大学の敷地になっている



この雑木林の中に前山1号墳があるという



ここから入って行ってみる



右手に説明板が見えてくる/この道に沿った左手が前山1号墳のようだ



手前が前方部で向こうの高まりが後円部という



前方部を横から見る



右手にくびれ部と後円部



後円部を見る



説明板がある



前山1号墳は4世紀後半の前方後円墳で、この古墳の南側の緩斜面には三基の小型古墳(前山3~5号墳/円墳)が現存するという
なお、前山2号墳(方墳)は新幹線建設で消滅してしまったという

埼玉県選定重要遺跡

前山1号墳

前山1号墳は大久保山丘陵の尾根上に所在する前方後円墳です。以前は円墳と考えられていましたが、平成十六(一八)年に古墳の形状を確認するため、本庄市教育委員会が発掘調査を実施したところ、前方後円墳であることが明らかになりました。

墳丘は、全長七〇メートル以上、後円部の直径約四八メートル、高さ七メートルの規模があります。後円部斜面の一部には、拳太の河原石を並べた「葺石」が存在しています。また、後円部の周囲と前方部の斜面には、堀がめぐっていることも確認されています。

堀のなかからは、土器が検出されており、この土器の型式から、古墳が造られた時期は、古墳時代の前期後半、西暦四世紀後半頃と推定されています。

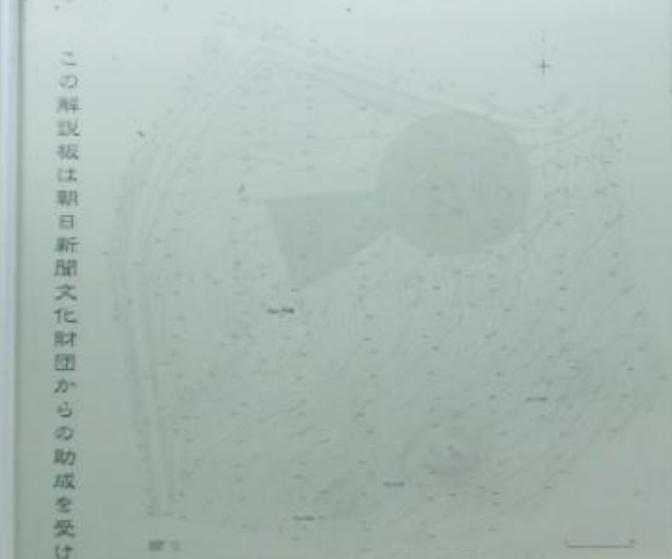
古墳の頂上部は未調査であるため、埋葬施設の内容は明らかではありませんが、全長七〇メートル以上という大きさから、古墳時代前期の前方後円墳としては、埼玉県内最大規模であることから、本庄地域ののみならず周辺にも広く勢威を及ぼした人物の墳墓と考えられます。

なお、一号墳南側の緩斜面には、三基の小型古墳(前山三(五)号墳)が現存しています。また、大久保山丘陵の東麓には、横穴式石室をもつ東谷古墳があり、前山1号墳とともに、大久保山古墳群として、埼玉県の重要遺跡に選定されています。

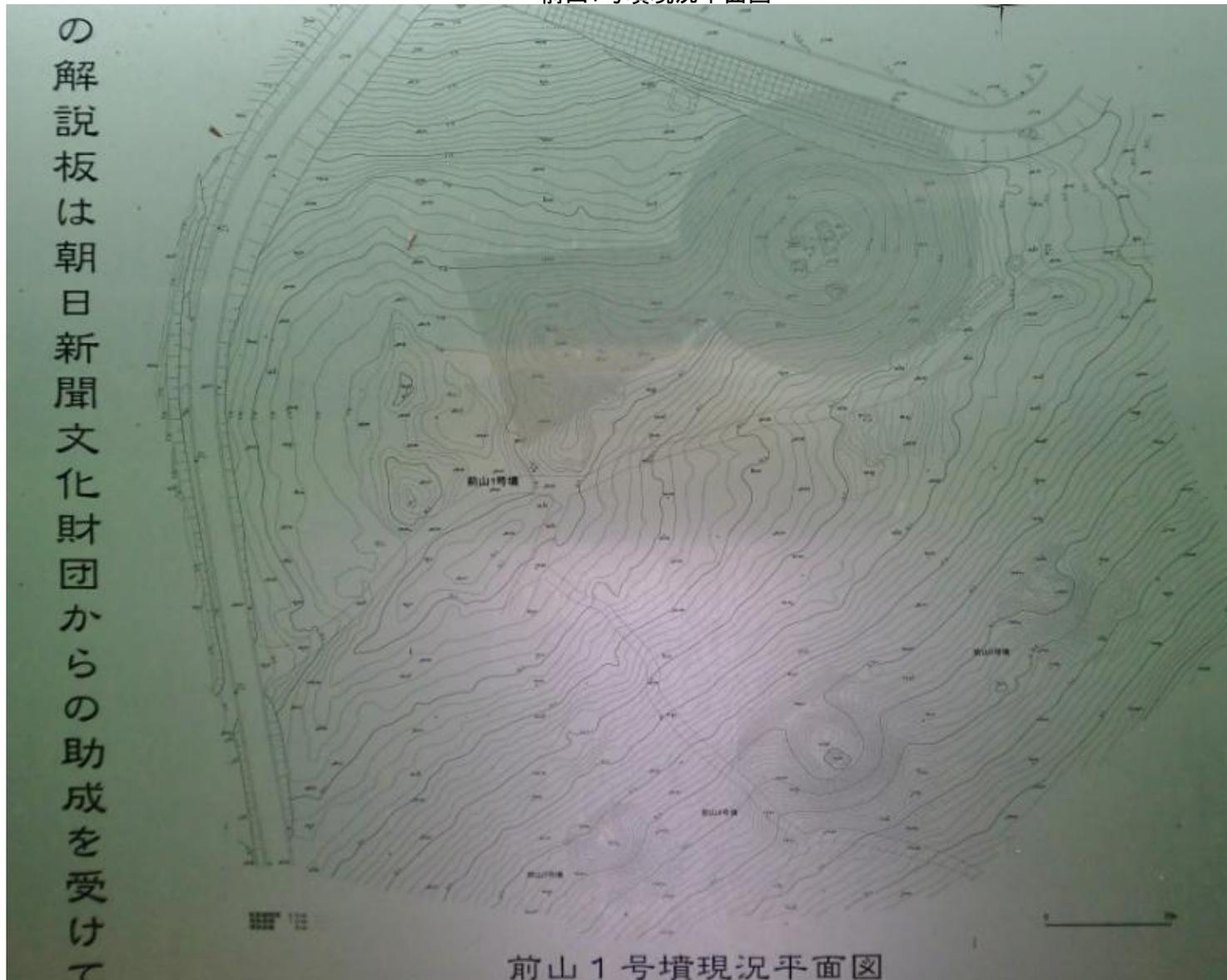
本庄市教育委員会

この解説板は朝日新聞文化財団からの助成を受けて作成したものです。

前山1号墳現況平面図



前山1号墳現況平面図



の解説板は朝日新聞文化財団からの助成を受けて

前山1号墳現況平面図

後円部の墳丘



後円部の斜面(法面)



斜面下には堀跡らしき溝が存在する



振り返って反対の斜面を見る



後円部(右手)から前方部(左手)方向を見る



道に沿った堀跡らしき溝が後円部(右手前)の周囲を巡っている



参考ホームページ

<http://sgkohun.world.coocan.jp/SAITAMA/honzvo/maevama.html>

<http://members3.jcom.home.ne.jp/kofun2-hp/saihon4.htm>

<http://www.museum.tokushima-ec.ed.jp/cc/65.htm>

<http://paralleli.life.coocan.jp/kofunblog2/?p=3335>



←前山1号墳
←前山3～5号墳

インターネットより

前山3～5号墳

この辺りが1号墳の南側の緩斜面か





中央やや左手に低い白色標識が見える



ここにも標識がある/正面に高まりがある



これが5号墳か

